

県教育委員会では、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣を身につけ、体力・運動能力の向上を図る上で重要な中学生期のスポーツ活動が、適切かつ効果的に実施されるよう標記指針を策定いたしました。

各中学校においては、本指針の趣旨と内容を理解するとともに、自校の「運動部活動」と「運動部活動の延長上にある社会体育活動」について、検討を行うとともに改善と更なる充実を図ることを求めます。

## 本県の中学生期における活動の現状や課題

- 運動部活動の加入率の低下
- 体力・運動能力、競技力における課題
- 責任の所在が曖昧で、一部の過熱化が生徒や家庭において過度な負担

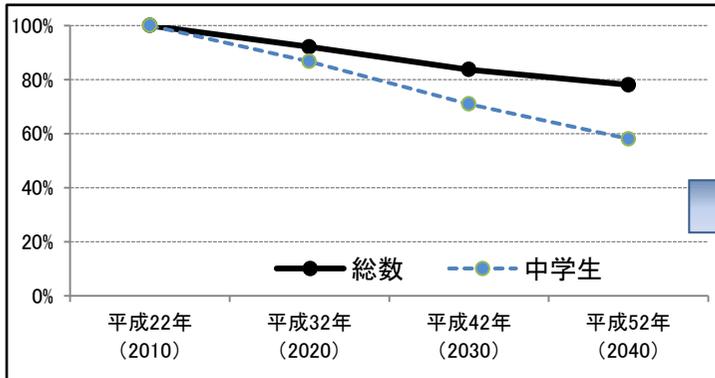
## 目指す姿

- メリハリのある練習計画によるバランスのとれた中学校生活
- 生涯にわたってスポーツに親しむ習慣の形成
- 運動好きな生徒の増加

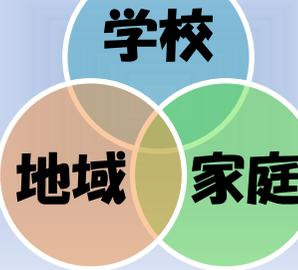
## 少子・人口減少社会に対応したスポーツ活動

- 26年後、本県の中学生は6割弱

「国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25(2013)年3月推計）」をもとに義務教育課で試算



## 地域に根ざした「長野モデル」構築



## 長野モデルの理念

- スポーツの行い方や魅力を伝え、生涯にわたりスポーツに親しむ資質を育成
- 地域の異年齢の交流をとおした健全な子どもの育成
- 人間関係が希薄になりがちな社会において、地域コミュニティとして位置づける
- 教員の人事異動に頼らない一貫指導と育てられた子どもが地域の指導者となる循環サイクル

## スポーツ（・文化）活動運営委員会

- 活動目標や方針等を踏まえた部活動運営の検討
- 生徒の健康、顧問の指導、地域指導者の活用等を検討
- 地域で実施されている社会体育活動との連携を協議

## 我々、チームNAGANO 指導者の理念

- 生徒の未来を背負う責任を自覚
- 今の結果より、将来にわたりスポーツに親しむ資質の育成
- 多様なニーズに応じた運営と指導の工夫
- 生徒の主体性を尊重した活動の工夫
- 絶えず学び続ける姿勢、生徒と共に学ぶ指導者
- 個に応じた指導で、充実感や達成感を味わわせる指導
- 体罰やハラスメントの根絶、コミュニケーションによる指導

## 運動部活動における基本的なスタンス

Student First

### 義務教育の公立中学校において行われるスポーツ活動

- ・ 学習指導要領に定められた学校教育の一環の活動
- ・ 豊かな人間形成を育むよう努める

### 学校長の責任のもと、安全・安心なスポーツ活動

- ・ 学校長の責任の下、学校全体で運営、指導等の目標や方針を作成
- ・ 学校長の適切な助言・指導
- ・ 放課後の活動充実に向けた学校運営の工夫
- ・ 学校評価における成果・課題の検証

### 多様なニーズ、個の思いを踏まえた活動

- ・ メリハリのある活動計画の作成
- ・ 生徒・保護者の思いを踏まえた計画と運営
- ・ 顧問間の意見交換、指導内容や指導方法の研究、情報の共有化